別紙1

指定管理者のモニタリングシート

1，基本情報

確認年月日：令和3年10月26日

施設名	中野地区活動センター		
住所	盛岡市東安庭字小森57番地1		
指定管理者名	社会福祉法人　盛岡市社会福祉事業団	所管課名	市民協働推進課
指定管理料（年額）	10,040,001		
今回確認期間	令和 3 年 4 月 1 日 から令和 3 年 11 月 30 日 まで （ 8 ヶ月間）		

2，業務の履行状況の確認について

（1）稼動実績

項目		今期計画	今期実績
開館日数		360	244
延べ利用者数	団体数	1,875	1,169
	利用者数	20,987	11,813
主要事業開催回数	自主事業(共催事業含む)開催数	3	2

（2）管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し，これらに沿った管理運営がなされているか。	適・要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか（一部の市民・利用者に対して，不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。）。	適・要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	建物，外構，設備の修繕の履歴は整理，保管されているか。	適・要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適・要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適・要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適・要改善
	備品の購入，廃棄，修繕の記録について整理，保管されているか。	適・要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適・要改善
	危機管理	
	危機対応の手順は整備されているか。	適・要改善
管理能力の確保	適正な人数の職員が配置されているか。	適・要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適・要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適・要改善

（2）管理運営実績（続き）

項目		確認欄
個人情報保護	施設で取り扱う個人情報は，特記仕様書に基づき扱われているか。	適・要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について，記録が整備されているか。	適・要改善
	あらかじめ市に協議するべき事項について，適時に協議がされているか。	適・要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について，適時に報告がなされているか。	適・要改善

3，サービスの質の確認について

（1）サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か	適・要改善
	利用者への応対のマナーは適切か	適・要改善
	利用者に対する職員の案内，説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適・要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	適・要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適・要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適・要改善
苦情要望	利用者からの苦情・要望に対し，適切な対応がなされているか	適・要改善
	利用者からの苦情・要望について，市への連絡報告が適切に行われているか	適・要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適・要改善
	使用許可手続きは円滑に行われているか	適・要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適・要改善

4，指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

中野活動センターは中野地区振興協議会と手を取り合って，町内会や学校，駐在所等との情報交換を密に行い，地域に密着した事業を展開している。今年度は，コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，集客力があるイベントは中止しているが，自主事業は密を避け，できるだけ開催するよう心掛けた。

地域の活性化を促進するため，伝統文化が盛んな地域であることを広く周知するため，活動センターを利用しているサークル活動を紹介したり，サークル活動加入希望者には手助けをしたりして，利用者増に努めている。

職員と利用者とが懇談する機会を設け，利用者が安心，安全な施設を利用できるように配慮してる。

施設修繕は，職員に出来るものは修繕をし，施設の安全管理について迅速な対応を行っている。

5，モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により施設利用休止が26日間もあった為利用者数の現象が顕著に現れましたが、事業計画は、コロナの事を考えて3密にならないような事業を考えて行った為、一応実施出来、利用者からも喜ばれました。ただ今年度もコロナの関係で地区民祭の文化祭、演芸祭が出来なかったので「来年度は是非ともやりたい」と多くの方の声が寄せられ、こう言う声を聴くと何とか地域の皆様の力になりたいと施設運営にも力が入ります。	中野地区振興協議会と連携した行事の企画など地域に根ざした施設として定着しているとともに，利用者の意見を積極的に取り入れようとする姿勢により利用環境の改善に努めている。特にも今年度はコロナ対応により，施設運営においては難しい面も多々あったが，工夫して可能な限り自主事業を開催するなど，柔軟に対応していただいた。 今後も住民の集会やレクリエーションなどコミュニティ活動の拠点としての役割を担っていただきたい。